



発行
 社会福祉法人川崎愛児園
 児童養護施設白山愛児園
 発行月 令和6年1月
 住所
 〒215-0014
 神奈川県川崎市麻生区
 白山1丁目1番5号
 TEL:044(712)4071
 FAX:044(712)4074
 hakusan@aijien.or.jp

法人の基本理念

当法人は命の尊さを大切にし、愛情をもって社会福祉事業を効果的かつ適正に行い、地域社会への貢献に努めます。また、地域社会の中で「将来を担う子どもたちへ」の質の高い養育及び子育て支援を目指します。さらに、事業経営の透明性と健全な経営を目指します。

- 一 「命を大切にすること」
- 一 「地域の中で養育と子育て支援」
- 一 「健全な経営」

施設の基本方針

- 児童一人ひとりが命を大切にする心を持ち、心身共に健康で調和のとれた人間として成長し、健全な社会人として自立した社会生活が営めるよう支援します。また、施設機能の専門性を活かし地域社会に協力します。
1. 一人ひとりの心身の成長に努めます
 2. 一人ひとりの尊厳を維持し人権を擁護します
 3. 一人ひとりの幸福のために支援します
 4. 自立した社会生活が営めるように支援します
 5. 施設の社会的、専門的役割を果たします

養護目標

社会的養護を必要とする入所児童に対しての基本目標は次の通りです。

- (1) あいさつの正しくできる人に
- (2) 健康な体と心をもてる人に
- (3) 人に好かれ、社会に役立つ人に
- (4) 感謝の気持ちをもてる人に
- (5) 人との調和がとれる人に
- (6) 思いやりのある人に
- (7) 基本的な生活や自立した生活ができる人に



理事長
 白戸 隆

日頃より当法人が運営する事業に対しご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

白山愛児園は開設から10年目を迎えております、こども達や職員は、地域のみな様との繋がりが何よりも必要であり、よき理解者としてお付き合いしていただいていることで安心して生活していくことが出来ております。

児童養護施設はどのような子どもがいるのか不安なご意見もありました、開設準備にあたっては、地域の代表のみな様方のこの街への愛情や想いを感じる機会をたくさん頂いてきました。児童福祉施設

ができる、児童養護施設ができる、ならば日本一の児童福祉施設を創ってくださいというメールと命題をいただきました。支援を必要とするこども達やこの施設に関わるこどもや大人が信頼し合いながら繋がっていきける、そんな場所をみな様と創っていききたいという気持ちになったことを思い起こします。

地域に在った私設のこども図書館を引継ぎ今に至っていることもその重要な一つになっております。図書活動をしてくださるみな様や図書を利用することも達が遠慮なく訪れてくれることで、少しはみな様のご期待に添えていたら幸いです。

開設後、みな様にお誘い頂き一杯飲めたこと、励ましていただいたことが忘れられません。この街をさらに良くしていきたいという想いの中で、これまでに出会った方々、これから出会うであろう方々を含め、引き続きご理解、ご協力、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



施設長
 霜倉 博文

平成二十六年四月に開所した白山愛児園は、地域の皆さん、関係機関の方々に支えていただき、早いもので十年目を迎えました。

新型コロナウイルスが感染法上五類に引き下げられ、年間行事計画も従来通りの計画を立てています。とは言え、まだまだ感染対策はしながら、また猛暑の中、熱中症予防にも気を遣いながらの生活を送っています。

今年度は、ユニットの職員を四名から五名に増員し、養育の質の向上をテーマに掲げて取り組んでいます。また、幼児の在籍児童も少なくなりましたことで、夏休み期間を利用して、二つの幼児ユニットを個室化するための改修工事を行っています。二つのユニットの子どもたちは、改修工事の間、地域の一軒家をお借りして仮住まいの生活をしています。一ヶ月ちょっと

ではありませんが、多くの体験と学びができることを願っています。併設しているはくさん児童家庭支援センターも少しづつ地域の子育て世帯に知られるようになり、利用相談を受けている「子育て短期利用事業」（シヨートステイ、デイステイ）の利用については、昨年度後半から急激に増加しています。地域の家庭の子育て支援にも貢献できるように取り組んでいます。地域交流スペースでは、昨年七月から再開した「子ども図書館ほんの森」は、再開を待ち望んでいた地域の親子たちで賑わいもどってきており、図書活動ボランティア団体「虹の会」のメンバーも生き生きと活動をしています。私自身は、愛児園の子どもたちが元気に遊んでいる姿、献身的に子どもたちを支えている職員的笑顔に助けられ、充実した生活を送っています。愛児園の子どもたちは地域の皆さんに気にかけていただきながら、多くの体験をし成長してきています。また、地域の方から職員への気遣いをいただく機会

も増えてきており、励みになっています。改めて感謝いたします。これからも地域の皆様に支えていただきながら、成長してまいりますので、愛児園を応援してもらえるとありがたいです。最後になりましたが、今年度も広報誌「わかば」を発行することができ、嬉しく思います。原稿を寄稿してくださいました皆様には、この場をお借りして御礼申し上げます。今後ともなお一層のご支援とご協力をお願いいたします。



オレンジリボンたすきりレー

年末恒例そばうち



日頃より当施設にご理解・ご協力頂き誠にありがとうございます。主任を務めさせていただいている森谷と申します。当法人に入職したのは18年前になります。当時、小学1年生〜高校1年生の女の子が20人生活しているグループに配属となりましたが、子どもとの関わり方や養育者としての重責に日々悩んでいました。退職を考えた時期もありましたが、子どもと楽しいことや辛いことも一緒に過ごし、徐々に関係性が構築されると共に『この子どもは自分が育てていくのだ』という思いが、仕事としての使命感だけではなく、自分の感情として芽生えていったのを覚えています。そんな子どもたちが就職して、自分たちの生活も落ち着いてきたのか、最近是一緒にお酒を楽しむ機会も増えてきました。話題は近

主任



森谷 健

況報告に始まり、仕事の悩み、恋愛事情等々。宿題が分からないと言って泣いていたり、TVのチャンネル争いで本気の喧嘩をしていた子どもたちが、今では一端の社会人になり、大人として自分の考えを話したり、私に意見を求めたりしている姿を見ると、感慨深く目を潤ませてしまいます。そして必ずと言っていいほど当時の思い出話になります。私が忘れていたような出来事や話したこと等も細かく覚えていた事があり、それになだかな言える子どもたちからの「寸評」が加わるので、内容によってはドキドキしながら聞いています。『そんな風に思っていたんだ。』と知り、もっとこうしてあげれば良かったかな、と反省させられることもありますが、そんな話ができる今の関係がとても嬉しいし楽しいです。この子どもたちとは一緒に生活していた期間だけではなく、卒園しても今なお関係は続いており、そして今後も何十年と続いていくであろうと思っています。

今、白山愛児園で生活している子どもたちとも十年後・二十年後には今の出来事を振り返りながらおいしいお酒が飲めることを楽しみにしながら日々の業務に勤めています。

園内お花見にて



キャンプ（園行事）にて
※浮き輪をつぶしています

事務



加藤 誠也

まずは日頃の皆様のご愛顧に感謝申し上げます。私は白山愛児園で事務として勤務しております。ちょうど地域小規模児童養護施設結が開所した年度の途中に入職

したため今年度で6年が経とうとしておりますが、私自身、入所している子どもたちと外出したり地域の行事等に参加したりすることがほとんどないため、地域の方や関係機関の皆様とは直接お会いする機会がなかなかないことを心苦しく思っております。

私が白山愛児園で事務をする以前は、事務職以外にサービス業や営業をしておりました。そこにはもちろんお客様やお取引先という存在がりましたが、人と人との繋がりやその大切さは白山愛児園で働き始めてからより一層強く感じております。たくさんの御寄附や行事等への御招待のお陰で、施設の中だけではなかなか難しい体験をすることができています。

白山愛児園も開所から10年目を迎え、自立や家庭復帰等により施設から退所した児童は昨年度30名を超えました。それは白山愛児園ひと施設分にあたる人数です。退所すると良くも悪く

も施設の後ろ盾がなくなってしまいうので、今まで職員の手を借りながらやってきたようなことをすべから自分ひとりでやらなければならず、行政の手続きや病院での受診の仕方ですぐ戸惑ってしまったり、金銭管理に苦慮したりしてしまう児童も少なくないそうです。そういったこともあり、白山愛児園でもプロジェクトを立ち上げ退所した児童が必要なときに必要な支援ができるような体制の強化を図っております。また、法人としても自立援助ホームを増設し、法律の枠を超えて年齢制限以上の児童を受け入れるなど退所後の生活支援に力を入れて取り組んでおります。

退所した児童の支援に要する費用には一定の補助が出たり、児童養護施設での自立支援に関する年齢制限が撤廃されたりと法的にも退所後の生活支援については拡充が図られてきておりますが、補助が出ない費用があったり児童を受け入れる拠点や支援にあたる人員の確保であったり、課題はまだまだ多いのが現状です。

とはいえ、私自身も施設職員として勤務していながら支援に繋がるようなことが何もできていないのですが、今後さらに法や制度が整備され支援の輪が広がることを願いつつ、児童にとって退所しても気軽に「帰ってこられる」「頼りにしていい」施設でありたいと思っております。

グリーンタウンソフトボール大会にて



白山愛児園お花見バーベキューにて



KOIのぼり坂プロジェクト



工学博士
井口 幸洋 先生

海外の研究者と会食すると研究の話だけでなく、家族の話題も出ます。家族のうちで誰かしらがボランティアをするのは普通なようです。ホームレス、老人、そして児童などに対するボランティアをしている話を聞きます。

日本では、どうでしょうか？ この記事を読んでいる方たちはボランティアに理解があり、実際、様々な形で参加される人も多いかもしれませんが、しかし、難しく考えてしまい、躊躇されている人も多いように思います。私自身の例を紹介して、一歩を踏み出してみたら新しい体験ができるかもということを通じて述べてみたいと思います。

私自身は、五十台半ばに西湘地域にある児童養護施設のバザーで園長先生と雑談になり「数学の指導」を依頼されたのが初めてのボランティア

アでした。その児童へは約一年間指導の後、希望の高校に進学しました。

その後は、その施設からの依頼も無かったため、しばらくボランティアからは離れておりました。高齢の母が亡くなり「人は誰かのおかげで生きていく。できる範囲でいいから周りの人を幸せにできる人になって欲しい」と子供時代に両親から言われたことを思い出し、ボランティアを再開したくなりました。ホームページで検索すると白山愛児園が勤務先の近くに見つかりました。数学なら教えられると連絡すると「理系を受験する高三の指導」を頼まれ、「受験数学は、四十年以上も離れているから教えられるかな？」と不安だったことを思い出します。訪問すると、「高三の子は文系を受験することになったので、中一の児童を指導してくれませんか？」と言われホッと

して始めたのが2019年の春でした。その児童の指導は四年間続いています。その後、さらに指導する児童は増えて、現在は、コロナ禍で始まった遠隔指導も含めて週に二〜三回。2022年度は、高校三年生の受験数学、高一、中二の数学、小六の算数とプロ

グラミング、小二の工作と算数の指導を実施できました。

勤務先で教える大学生は、恵まれた家庭に育った人が多く、入試に合格したある一定以上の学力は担保されています。また、大学では、学生は自ら学べという立場ですから、白山愛児園での指導は私自身の意識改革が必要であることもわかりました。なかなか成果が出なくて心配もしましたが、「継続は力なり」という言葉通り、前はできなかったことが確実にできるようになってい

ます。一番長く教えている生徒さんが、高一になり「友達に数学を教えられた」と嬉しそうに伝えてくれたことは、私にとっても喜びでした。私はこの先、年を取り衰えていくはずですが、しかし、子供たちには、輝かしい未来があるはず。少しでも力に成れば私も楽しいことがわかりました。今は、一緒に勉強することが楽しくてボランティアをしているわけ、これを長く続けるためには、健康でいることも大事だと思えますし、定年退職したらもっと多くの時間をボランティアに使

いたい自分を発見しました。

白山愛児園は、職員の方や地域の方を始めとしたさまざまな方たちに支えられてきています。コロナ禍で人の交流が途絶えがちになった今こそ、ボランティアに一歩踏み出せずにいる方に参加されてはどうかと考えて駄文を書きました。子供たちは、大きく伸びる力を秘めています。それを伸ばす助けとなるような活動を一緒にしてみませんか？

水鉄砲工作教室



初めての体験にわくわく！

プログラミング授業



自分が作ったプログラムでロボットが動く



作った水鉄砲を使って水遊び★

新任職員のごあいさつ



嶋崎 彰人
(しまぎ あきと)

私は大学にて法学を学び、そこで児童の虐待問題に興味を持ちました。調べて行くうちに、世の中で辛い思いをしている子どもたちの力になりたいと考え、児童養護施設で働くことを決めました。数ある児童養護施設の中で白山愛児園を志望したきっかけは、大学4年生の時に白山愛児園の会社説明会に参加したことです。子どもたちや職員の明るい雰囲気と驚き、この場所で子どもたちの力になりたいと思いました。

実際に働いてみて、忙しい毎日、決して楽な仕事ではないということを実感しています。しかし、子どもたちの笑顔のために、そして一人前の職員となるために、より一層励みたいと感じています。私は福祉系学部の出身ではないため、他の職員より知らないことも多く、ご迷惑をおかけする部分があるかと思いますが、今後学ぶ姿勢を忘れずに精進したいと考えております。どうぞよろしくお願いたします。



石渡 奈美
(いしわたり なみ)

私は元々身体を動かすことが好きでスポーツトレーナーを目指していましたが、しかし、甥っ子ができた影響で子ども関係の仕事に興味をもちました。初めは保育園で働くことを考えていましたが、施設実習にて白山愛児園で実習をし、子どもたちと関わっていく中で、子どもの温かさに胸を打たれました。また、先輩職員の子どもと向き合う姿勢や関わり方、一人一人に合った支援方法や声掛けを目にし、私自身も成長したいと感じました。実習中に、自分のなりたい保育者像を明確にさせてくれた先輩職員と出会い白山愛児園で働くことを決めました。

実際に働く中で、対応や関わり方に悩むことばかりです。正しい対応だったのかと自分の中で葛藤し、自問自答を繰り返しながら、この仕事の難しさを痛感しています。しかし、子どもたちと全力で遊び、全力で向き合う毎日楽しくやりがいもあります。

職員として成長できるように、学ぶ姿勢を忘れず、精進してまいります。



種山 紗輝
(たねやま さき)

私が児童養護施設で働きたいと思うようになったのは、中学生の時に観たテレビ番組がきっかけでした。当時は子どもが好きで保育士になりたいと考えていました。しかし、様々な理由により親のもとで暮らすことが難しい子どもがいることをその番組を通して知り、どうして同じ子どもなのに寂しい思いをしなくてはいけない子がいるのだろうか考えるようになりました。

そこから、子どもや福祉を学ぶことのできる大学に入りました。学んでいく中で、自分自身が子どもたちの安心できる居場所になりたいと思うようになり、児童養護施設で働くことを決めました。

白山愛児園の、職員自ら献立を考え調理をするという、家庭的であたたかみのある点に魅力を感じ、ここで働きたいと思いました。

実際に働いてみて、子どもと関わる中で上手くいかないことも多く、自分が正しい関わり方ができているのかと不安になることばかりです。これからも、自分なりに子どもと向き合っ

一緒に成長していきたいです。



伊藤 渚
(いとう なぎさ)

私は小さい頃、保育園の先生が大好きで将来は保育園の先生になりたいと思ひ保育士免許が取得できる専門学校に入学しました。最初は保育園で働くことを考えていたのですが、学校の授業の中で児童虐待について学ぶ機会があり、その中で子どもたちの力になりたい、支えたいと思うようになり児童養護施設で働くことを決めました。

白山愛児園で働きたいと思ったきっかけは施設見学の際に、園の雰囲気や職員同士の仲の良さに魅力を感じたからです。

実際に働いてみてとても大変な仕事であると感じています。それと同時に子どもたちがご飯をおいしそうに食べている姿や外で元気に遊んでいる姿を見てみると自分まで幸せな気持ちになり、それが私のエネルギーになっています。

今は先輩職員たちが子どもたちと関わる場面を見て、子ども一人ひとりに合わせた関わり方を学んでいます。

今後も学ぶ姿勢を忘れずに、子どもたちが安心して生活できるようにサポートしていきたいなと思います。



小河原 莉奈
(おがはら りな)

私は人の役に立ち、子どもに関わる仕事に就けたらいいなと、自分の将来を漠然と考えていました。そんな私が児童養護施設で働きたいと決めたとたきつかけは大学2年生の時のゼミでした。当時のゼミでは「児童虐待」について研究をしていました。児童虐待の現状について研究を進めて行く中で、児童虐待の深刻さを感じました。助けを求めたくても求められない子どもたちがいることを知り、その子たちに一番近くで寄り添える人になりたいと思ったことがきっかけで、児童養護施設で働きたいと考えるようになりました。

私は、今年ショートステイ・デイステイのユニットに配属となったため、日によって子どもが変わる環境に慣れることで精いっぱいです。中々子どもと距離を縮められず、関わり方で悩んだり、子どもたちが安心・安全に過ごすために自分ができることは何かを考えさせられる毎日です。子どもたちにとって白山愛児園で過ごした時間が、少しでも良い思い出になるよう、私自身成長していきたいと思っています。



内藤 巧巳
(ないとう たくみ)

私は大学での講義にて児童養護という分野に強く惹かれ、児童指導員という職種を知り興味を持ちました。大学での実習にて児童養護施設に行く機会があり、実際に現場で児童と関わることでしか得られない楽しさ・やりがいを体感し、施設で働きたいと思ひました。私はデイ・ショートステイユニットの配属になったため、毎日関わるお子さんが異なることや、関りの難しさを日々痛感しています。しかし利用している児童の気持ちを第一に考え、気持ちに寄り添った声掛けや関わりをし、お子さんだけでなく保護者の方々が安心して利用できるよう、努めたいと思ひます。

多くのことを経験し、児童指導員として一人前に慣れるよう精一杯頑張ります。



井上 紗和
(いのうえ さわ)

私が白山愛児園に入職したいと思った理由は二つあります。一つ目は、環境が整っている点です。設備が整っており、子どもたちの居住スペースも綺麗にされているため、子どもたちが住みやすい環境が整っていると感じたからです。二つ目は、地域との関わりが多い点です。地域で子育てをしている方がショート・ステイ等を利用できることや、地域交流スペースで地域の方が本の貸出や読み聞かせの活動を行っていること等、地域の方同士も関り合いながら地域全体で子育てをしているように感じ、白山愛児園で働きたいと思いました。

実際に働いてみて、子どもたちの背景を理解しながら、養育していくことの難しさを、日々感じています。まだまだ至らない点ばかりですが、私も子どもたちと一緒に成長していきたいと思っています。これからどうぞよろしくお願致します。



恩田 育美
(おんだいくみ)

私は大学で心理学を学び、学んだことを仕事にしようと、当初は漠然と心理士を目指していました。もともと子どもと遊ぶことが好きで、児童虐待に関する講義やニュースを通じ、なぜ虐待が起きてしまうのか、虐待を受けた子どもの発達や家族との関わりはどうなっていくのか、といったことに関心をもち、児童福祉の分野に携わりたいと思うようになりました。また、大学院での実習で児童養護施設に行ったり、学内のカウンセリングセンターにいらしたお子さんを担当したりして、様々な背景や特性がある子どもと関わることの難しさと同時に、面白さや子どもと遊ぶ楽しさを改めて感じ、児童養護施設への就職を決めました。

入職してから、大変さやあの時こうすればよかったな、まだまだ知識不足だな、と感じることが多々あります。これからも先輩方から沢山学び、子どもたちがより良い毎日を過ごせるよう頑張りたいと思います。



杉崎 愛里
(すぎざき あいり)

私は幼い頃から《大好きだった保育園の先生になりたい》という想いがあり、保育士になるために専門学校に入学しました。学校の授業で保育園以外にも保育士が活躍できる場があることを知りました。児童虐待についても学ぶ機会があり、児童養護の分野に興味をもちました。2年次に行った白山愛児園での実習を通し、より子どもたちの近くで様々な面から支援を行うことができると感じ、白山愛児園に就職することを決意しました。

実際に働いてみて、日々学ぶとともに反省することも多くあります。しかし子どもたちと食卓を囲み、他愛のない会話をしながら一緒に過ごすことが、日々の活力になっています。

これからも子どもたち一人ひとりのことを深く知り、それぞれにあった関り方や支援ができるような職員になれるよう頑張っていきたいと思っています。

園での生活

201 (男子ユニット)



3歳から18歳の男子ユニットです。活発な児童が多く、晴れた日には外で身体をたくさん動かしています。雨の日は、ユニットや施設内の多目的室で本を読んだり、ゲームをしたり、玩具で遊んだりして過ごしています。

年長児は面倒見が良く、年下児童と一緒にごっこ遊びやボール遊びをしてくれることもあります。年齢差はありますが、みんな和気あいあいと生活をしています。

今年度は

- ①自発的に挨拶・感謝の気持ちを伝えることができる
- ②新しいことややってみようというチャレンジができる

そんなユニットを目指します

202 (男子ユニット)



小学生から大学生の男子ユニットです。

外で活発に遊ぶこともあれば、室内でパソコンやゲームをして過ごすこともあります。喧嘩をするということもありますが、何かに取り組む際には一致団結する力ももっています。遊びや行事に全力で取り組み楽しむことができ、様々な経験をしながら、笑顔の絶えない賑やかな毎日を過ごしています。互いの良いところを見つけ合い、尊重し合えるユニットを目指していきます。

301 (女子ユニット)



元気で明るく、外で遊ぶことが大好きな、幼児から高校生の女子ユニットです。

喧嘩もありますが、お互いに気持ちを伝え合い仲直りすることができる子どもたちです。「○○手伝おうか?○○してあげようか?」と他者に思いやりを持って接することができます。

年少児は年上のお姉さんの服装や髪型を真似することが好きで、時にはお姉さんたちが年下児童の髪を結ってあげたりと仲良く過ごしています。

これからも相手のことを思いやることができ、互いに応援することができるような素敵なユニットを目指していきます。

302 (女子ユニット)



明るく元気いっぱいな女子ユニットです。

時には喧嘩もしますが、仲直りもでき、思いやりのある優しい子どもたちです。

やる時はやる!と、メリハリをつけて行動することができます。

幼児から高校生までが生活をしているので、年上児童は年下児童の面倒を見たり、年下児童は年上児童の真似をしたり、とお互いに良い関係を築いています。

職員も子どもたちと共に、元気に生活を共にしています。

自分の良い所・できることをたくさん見つけ、目標ややりたいことに精一杯挑戦できるユニットを作っていきます。

白山愛児

303 (女子ユニット)



好奇心旺盛で、行動力がある女の子のユニットです。作り方を自分たちで調べてお菓子を作ったり、学校で学んだことを実験してみたりと様々な物事に挑戦することが大好きです。

幼児から高校生までが生活しているため、喧嘩をすることもありますが、じっくり話し合って解決ができる子どもたちです。お姉さんたちは、妹たちが泣いていると心配して励ましてくれます。年下の子どもは「○○ちゃん凄いいね!」とお姉さんたちに憧れ時には甘えたりと、良い関係性を築いています。

様々なことに挑戦し、たくさん学びながら、お互いを大切に想うことができるユニットを目指しています。

各ご家庭の様々な事情で子育てが一時的に困難になった際、一定期間お子さんをお預かりする事業を担当するユニットです。2歳から小学6年生を対象に、日中預かりのデイステイ、宿泊を伴うショートステイを実施しています。また、里親支援の一環として、2歳から18歳のお子さんをお預かりする事業も担当しています。徐々に地域の方に知っていただけていることもあり、土日祝日は一日あたり10人程のお子さんが利用されています。毎日笑い声が絶えない、元氣いっぱいなユニットです。



203 (ショートステイ/デイステイ)

王禅寺地区の一軒家を借りて生活しています。アクティブに体を動かして遊ぶこともあれば、カードゲームやボードゲームをみんなでするたり、泣いたり、にぎやかに過ごしています。時には、学校の勉強や部活動、進路、友人関係等、悩みや迷いを抱え、壁にぶつかりながらも、周りの人に支えられ、日々成長しています。地域の方々から、いつも温かいお声かけをいただき、見守っていただいている実感を得て、感謝の気持ちを大事に過ごしています。

結 (地域小規模児童養護施設)



東百合丘地区の一軒家を借りて生活しています。今年でホーム開所3年目になりました。日々地域の方々に温かく見守られ、安心して生活しています。声を掛けていただく機会も増え、嬉しく思っています。年齢の高い児童が多いため、部活動や習い事、アルバイト、友人関係等ホーム外でも元気に活動しています。ホーム内ではお菓子作りをしたり、リビングでゲームをしたりと、ゆったりとした時間を過ごしています。

今年受験を控えた児童もいるため、各々のやるべきことに向き合いつつ、帰ってきたときにはほっと一息つけるような居心地の良い場所にしていきたいと思っています。

紬 (地域小規模児童養護施設)





7月 キャンプ

8月 かき氷祭り



園の行事



9月 お月見



10月 白山愛児園まつり



12月 クリスマス会





1月
おもちつき大会



2月
節分豆まき



3月
卒業と進級を祝う会

白山愛児



4月
お花見バーベキュー



7月
七夕



地域の行事・活動

たくさんの人で大盛り上がり！



毎年ご招待いただいています！

アカシア街区

・アカシア夏祭り

アカシア グリーンサポート47

- ・たけのご堀り
- ・竹細工教室

シャボン玉とんだ♪



竹串の工作教室



手作りの竹の滑り台



たけのご見つけ！



東百合丘町会

・納涼盆踊り大会

太鼓の音色と盆踊り♪



白山納涼祭



かき氷とヨーヨーつりを
担当しました！

2023年はわたあめ屋さんを担当！



地域のみなさんとスポーツを通して交流！



緑地保全活動の後に
風車作りを体験！



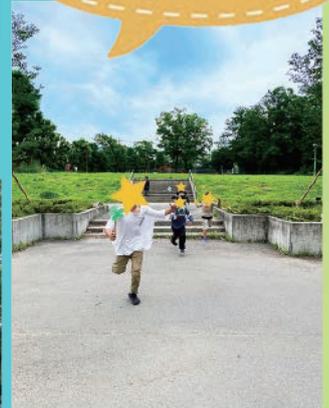
三井百合丘第三地区自治会 王禅寺公園愛護会

- ・王禅寺公園の剪定作業
- ・風車づくり



こどもも大人も全力疾走！

皆で風をよむ・・・



グリーンタウン

- ・ソフトボール大会
- ・駅伝大会

この他 掲載しきれない程
行事や活動があり、地域の
皆さまに見守られながら
生活しています

寄付者・招待者・ボランティア 紹介

※順不同

※令和4年4月～令和5年8月末日まで掲載しております。

- 飯田 正人 様
- 大山 正子 様
- 宇井 令子 様
- 善方 聡子 様
- 加藤 辰典 様
- 田上 直子 様
- 井口 幸洋 様
- 齊藤 利恵子 様
- 吉田 はる美 様
- 伊藤 暁志 様
- 佐藤 益朗 様
- 眞川 桃子 様
- 田野崎 薫 様
- 伊藤 舞 様
- 上地 祐輔 様
- 立川 盛康 様
- 徳武 純子 様
- 永井 隆吉 様
- 福田 勝樹 様
- 米沢 優美 様
- 小島 多美子 様
- 都倉 準一 様
- 太田 大二 様
- ガイタノ・トタロ 様
- 川本 勝 様
- ノーマン 優子 様
- 古賀 茂明 様
- 古賀 祐子 様
- 圓城寺 広明 様
- 大場 陽子 様
- 村山 健一郎 様
- 木村 美弥子 様
- プラサド ラクマール 様
- 樋口 誠 様
- 片山 光晴 様
- 菊池 良子 様
- 阿部 久美 様
- 井口 幸洋 様
- 鈴木 啓子 様
- 石黒 英世 様
- マサアキおじさん 様
- H・E 様

- 白山まちづくり協議会 会長 伊東 紘 様
- アカシアグリーンサポート 会長 立山 信幸 様
- 麻生区商店街連合会 会長 鴨志田 敏彦 様
- 新ゆりグリーンプラザ商店会 会長 菊池 慶高 様
- 日生百合丘自治会 会長 唐澤 毅 様
- 東百合丘町会 会長 松澤 武雄 様
- けやき自治会 会長 吉元 進 様
- アカシア自治会 会長 中山 忠 様
- 川崎市立王禅寺中央中学校 校長 山本 浩之 様
- 川崎市立長沢中学校 校長 杉山 達郎 様
- 伸和コントロールズ株式会社 様
- Yai Yai 様
- 株式会社 セント 様
- 関東アイスクリーム協会 様
- 富山めぐみ製菓株式会社 東京支社OTC事業部 様
- 株式会社 ビースタイルチャレンジ サステナビレッジ 様
- 食卓クラブ 様
- 公益財団法人 日本漢字能力検定協会 様
- 株式会社 あかもと本舗 様
- アンティーク彦根 様
- 自習ノート事務局 様
- オルトラーナ 様
- クラスター株式会社 様
- 横浜西ロータリークラブ 様
- 一般社団法人 日本ゴルフツアー機構 様
- 一般社団法人 日本女子プロゴルフ協会 様
- 公益社団法人 日本プロゴルフ協会 様
- 一般社団法人 神奈川県養豚協会 様
- 株式会社 ヴァーチュアスサークル 様

- 宇賀梨園 様
- 株式会社 フレーベル館 様
- 一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会 様
- コンラッド東京 様
- ヒルトン東京 様
- 特定非営利活動法人 Playerground of hope 様
- 株式会社 カジノヤ 様
- 日本航空 株式会社 様
- 日本鏡餅組合 様
- 株式会社 プレナス 様
- 全国シヤンメリー協同組合 様
- ファミリーマート王禅寺西店 様
- 神奈川トヨタ自動車 株式会社 様
- バルーンメッセンジャー株式会社 様
- 毎日新聞東京社会事業団 様
- INAGE 様
- 株式会社 カレンズ 様
- Dream プロジェクト 様
- 株式会社 SL Creations 様
- 株式会社 セレモニア 様
- 株式会社 ニブリック 様
- 株式会社 東山書房 様
- 日本生命保険相互会社 様
- 横浜銀行 様
- 一般社団法人 日本児童養護施設財団 様
- 三菱電機株式会社 神奈川支社 様
- 社会福祉法人 神奈川県共同募金会 様
- ベビーキルトかわさき 様
- 神奈川県子ども関連施設感謝応援事業 様
- 株式会社 Noblesse Onlige 様
- 株式会社 ドミノ・ピザ・ジャパン 様
- カラース株式会社 様
- 一般財団法人 みらいこども財団 様
- 公益財団法人 オリックス宮内財団 様
- 西伊豆町役場 観光商工係 様
- キャンブ黄金崎 様
- 株式会社 トラストコーチ 様

このほか、匿名でも多くのご寄付を頂戴いたしました。
日頃よりご支援、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。

～卒園生の言葉～

2017年度卒園 平賀 明信



白山愛児園での思い出は色々あるけど、やっぱり夏に行ったキャンプが楽しかった。

まずはスイカ割り。急に誰かがふざけて「男はコブシで！」と言い出したから、そこからスイカとコブシの闘いが繰り広げられた。スイカはあまり得意じゃないけど、何も考えずに笑ったあの時間は特別だった。

キャンプの夜と言えば花火だ。みんなでやる花火がこんなに楽しいんだってあの時初めて知った。肝試しもした。驚かせようとする職員さんの努力を無視して、丁がふざげるから台無しだったけど、職員さんもつられて大笑いして、それはそれで楽しかった。

帰る日に行った海水浴も最高だった。角ちゃん(職員)に海へ投げつけられたり、「バナナボートブーメラン!」と叫びながらバナナボートを投げたり、砂浜では丁を砂に埋めて、大きな羽根を生やして大笑いしたり。時間を忘れて楽しんだ結果、肌が真っ赤に日焼けした。高木さん(施設長代理)のアロエを借りて、体中に塗りたくったっけ……。あの日みんなで飛び込んで遊んだ場所は、今では使用禁止になっているらしい。なんだか少し寂しいけど、あの時の思い出はしっかり目に焼き付いている。

ユニット外泊で長野にも行った。職員さんの実家に宿泊させてもらうことに。初めてのスノボ! 寒さの影響で携帯のバッテリーが壊れるハプニング

グもあって最初は戸惑ったけど、楽しかった。優さん(職員)から「初めてのなのに倒れ方が上手!」って褒められたけど、本当はただ自分で止まれないから、尻もちをつくしかなかったただだったんだよなあ。

松本城にも行った。松本城はオレンジ(アニメ)の聖地。当時のユニットのメンバーはみんなアニメが好きだったから、盛り上がった。

温泉に行ったこと、職員さんの実家の犬が可愛くてひたすらじゃれていたこと、おじさん、おばさんが優しくしたこと、作ってくれるご飯がとても美味しかったこと、特に自家製サラミが美味しくてバクバク食べ過ぎてしまったこと、全部覚えてる。

当時、俺はなかなか学校に行かなくて職員さんとかよくぶつかった。眠気と学校へのストレスと自分でもよく分からないイライラがあって、職員さんの目の前で机をひっくり返してしまったことがある。角ちゃんは驚いた顔をしていたけど、俺の空気を察してくれたのか放っておいてくれた。

アルバイトを頑張っていた時期もあったけど途中から欠勤するようになって、いろんな人に迷惑をかけてしまったと思う。バイト先に謝罪に行くことになった時、ついてきてくれたのは角ちゃんだった。



はばたくわかば



俺が夜中になっても帰ってこない時は、いつも角ちゃんから電話がかかってきて「迎えに行く。」とだけ言って飛んできてくれた。帰りの車の中では怒ることもなかったただ無言だったけど、それが俺にはありがたかった。

学校で色々あって、行きたくない日も多かったけど、それでも行ける日があったことは自分なりに頑張った部分だと思う。

中学の頃は中長距離が一番をとる程走ることが得意だった。高校で部活はやらなかったけど、地域のマラソン大会、文体行事の送別マラソン等全部参加した。何度か入賞することもあって、あの頃はよく頑張ったなあとも思い出すことがある。

白山愛児園を退所して思うのは、誰かが作ってくれるご飯の美味しさとありがたみ。特に好きだったメニューは角ちゃんの男ご飯(量大盛、味濃いめ)、澤村さんの唐揚げ、大島さんのネギ塩豚丼・鶏丼だ。美味しかったなあ。

掃除や洗濯も、園を出てから誰かがやってくれるありがたみに気付いた。今は洗濯を回していたことをすっかり忘れて、半日経ってしまっている。濡れた洗濯物は放置すると臭くなるから洗い直さなきゃいけないってことも、そう言えば職員さんがよく言っていたことだった。身にしてみても

かったのは園を出てからだ。

今頑張っていることは、仕事をしながら睡眠時間をしっかりと確保すること。家に帰ってから、夕方過ぎていると寝る時間が無くなるから気を付けている。好きなアニメ鑑賞をグッと我慢して、寝る時間を優先するのはなかなか大変だ。たまに失敗して30分しか眠れない時もあるけど、俺なりに頑張っていると思う。

これから頑張りたいことは、今やっている仕事を続けること。今の職場は家から1時間くらいかかるから、職場の近くに引っ越しもしたい。その分寝る時間もとれるし、お金を貯めて職場の15分圏内に引っ越すことが目標！

最後に職員さんへ・・・
たまに遊びに行くからこはん作って待ってね！



はくさん児童家庭支援センター

お問い合わせ先：044-712-4073

平成26年4月にオープンした、こどもと家庭のための専門相談機関です。こどものこと・家庭のこと 何でもお気軽にご相談ください。必要に応じて地域の関係機関と連携し、ご相談の内容に合わせて支援をいたします。

相談事業

- 対象：18才までのお子さまとそのご家族
- スタッフ：社会福祉士・心理士 など
- ご利用料金：ご相談は無料
- 受付日時：平日（月～金）
9：00～18：00
（祝日と年末年始はお休み）
- 主な担当区：多摩区・麻生区

- 来所相談
※事前に電話でご予約下さい
- 電話相談
- 訪問相談

子育て短期利用事業

- ショートステイ（宿泊預かり）
- デイステイ（日中預かり）
- 対象：川崎市在住の2才～小学6年生まで
- ご利用料金：有料
※詳細はお問い合わせください
- ご利用方法：事前面談・申し込みが必要です
- ☆ご利用をご希望の際はお早めにはお電話でお問い合わせください

子育てサポート事業

～就学前のお子さまと保護者の方のフリースペース～
子育てスペース・ママン

玩具のあるスペースで親子でゆっくり過ごしませんか？
育児に関する相談もできます

○月2回 10：00～12：00

○利用料金：無料

○ご利用方法：予約制

詳細はLINEまたはInstagramでお知らせしています



LINE



HAKUSAN_JIKASEN

○その他講座なども行っています。

保護者の方が育児疲れ・病気・事故入院などにより、子育てが一時的に困難になった場合に、一定期間お子さんをお預かりします
※保護者・お子さまが感染症の場合などご利用いただけない場合があります

地域交流スペース

区内・当施設近隣で、主としてお子さまたちの育成に携わっている団体等、非営利の活動を行う個人・団体にスペースをお貸しいたします
ご利用にあたっては事前に利用団体登録をさせていただきます

例

- ・野球やサッカーチームのミーティング
- ・保育園 発表会の衣装づくり 等…

※ご質問があればお気軽にご連絡ください

利用時間帯：9：00～17：00

お休み：年末年始（12/29～1/3）

お問合せ：044-712-4071

地域コーディネーター 隈元まで

利用料金：無料

▽現在地域交流スペースにて活動されている団体▽

白山こども図書館 ほんの森

～赤ちゃんからシニアまで本を読んだり遊んだりのんびり楽しめるにぎやか図書館です～

- 毎週火曜日
10：30～12：00
10：30～おはなし会・わらべうた本の選び方相談など
- 第4土曜日
13：00～15：00

土曜日も再開しました！



※詳細はお問い合わせください
メール：yuri-niji@msn.com
ホームページ：http://honnomori.starfree.jp

にこりん

～ハンディをもつこどもとそのママのためのサークルです～

月に1回、一緒に遊んだり、おしゃべりしたり情報交換をしたりしています

先輩ママが保育ボランティアに入ることもあり、くつろげるひとときです

活動場所や時間は変更することがあるので、事前にお問い合わせください

※詳細はお問い合わせください
メール：nikorin@ju.ciao.jp
ホームページ：http://nikorin2003.jimdo.com/